

農業セミナー（畜産コース）開講式を開催しました

畜産業の担い手として就農したセミナー生（5年目までの方）を対象に農業セミナー（畜産コース）の開講式を6月8日（月）にかながわ農業アカデミーで開催しました。出席者は6名で、その内訳は、酪農3名、養豚1名、採卵鶏2名でした。

最初に、畜産に関する知識の習得のため、「農業制度資金について」、「畜舎屋根のドローンによる遮熱塗装について」、「農作業中の熱中症予防について」、「令和8年度耕畜連携堆肥利用推進事業について」の4課題について普及指導員が講義を行いました。どれも畜産経営に必要な不可欠な内容であるため、セミナー生は熱心に講義に耳を傾け、活発な質疑応答が行われました。

続いて、各自の技術や知識の習得状況を可視化するために、「農業セミナー巡回チェックシート」を作成してもらいました。これは、飼養管理、経営技術、衛生管理、生活技術、ネットワークの各項目について、現在の状況と1年後の目標数値を記録するものです。最後に、作成したチェックシートを用いて、自農場の紹介を兼ねて今後の目標を発表してもらい、セミナー生と普及指導員で質疑応答がなされました。セミナー生の中にはSNS等を利用して情報発信を行う方や、神奈川県における畜産業のあるべき姿を提案している方もおり、普及活動を行う上で大変参考になりました。

このようなセミナーは、仲間とのコミュニケーションやネットワークづくりの場としても有意義であり、経営技術の向上を促すために今後とも開催していきます。

今年度の農業セミナーには、新たに3名のセミナー生が加入しました。経営のために必要な技術習得の支援を行っていきます。

令和8年度の農業セミナー生は13名で、酪農3名、肉用牛1名、養豚3名、養鶏6名です。



普及指導員による講義



チェックシートの作成



開講式に参加したセミナー生と普及指導員